

B&B 主催【朗読とレクチャア】

ミテ、社会のことば、ひびワレテ

出演) ディヴナ・トリチコヴィッチ× 藤井貞和× ぱくきょんみ× 前田君江
× 樋口良澄× 新井高子

日時) 2014 年 2 月 9 日 (日) 15:00~17:00 (開場 14:30)

会場) 本屋 B&B (世田谷区北沢 2-12-4 第 2 マツヤビル 2F)

入場料) 1500 円 (+ 1 ドリンク)

予約) B&B サイト http://bookandbeer.com/blog/event/20140209_mite/

B&B 電話 03-6450-8272

三島由紀夫『真夏の死』、宮沢賢治『夜鷹の星』などの翻訳書や、セルビアで初めて刊行された日本語教科書『漢字』の著者として知られるセルビア人日本語・日本文学研究者、ディヴナ・トリチコヴィッチさんが、このたび来日します。そこで B&B では、ディヴナ・トリチコヴィッチさん、さらにトリチコヴィッチさんと縁の深い、詩と批評の雑誌『ミテ』に関わる詩人や研究者をお迎えする会を開催します。

藤井貞和さん、ぱくきょんみさん、前田君江さん、樋口良澄さん、新井高子さん、そしてディヴナ・トリチコヴィッチさんの 6 名による朗読や詩のレクチャア、そしてお客さまとの意見交換など、「詩と社会」を考えるうえで、国際感覚あふれる 2 時間となることでしょう。ふるってご参加ください!

ディヴナ・トリチコヴィッチ

1977 年生まれ。セルビア在住。日本語・日本文学研究者。翻訳家。ベオグラード大学日本語学科助教。訳書に、三島由紀夫『真夏の死』、宮沢賢治『夜鷹の星』など。近著は、セルビアで初めて刊行された日本語教科書『漢字』。ユーゴ紛争後、経済封鎖された首都から、日本語で「ベオグラードからのレポート」を執筆。

藤井貞和

1942 年生まれ。詩人。古代文学、物語論、言語態研究者。東京大学名誉教授。詩集に『神の子犬』『春楡の木』、研究書に『源氏物語論』など多数。近著は、震災と原発問題に取り組んだ『水素よ、炉心露出の詩: 三月十一日のために』。

ぱくきょんみ

1956 年生まれ。詩人。翻訳家。近畿大学四谷アート・ステュディウム、和光大学講師。詩集に『そのコ』『ねこがねこ子をくわえてやってくる』等。エッセイ集に『いつも鳥が飛んでいる』。新詩集として『何処何様如何草紙』。

前田君江

1972 年生まれ。東京大学非常勤講師。ペルシア語翻訳者・校閲者。中東絵本ウォッチャー。訳詩集に『現代イラン詩集』(共訳)。イラン初のノーベル文学賞候補詩人、アフマド・シャームルーを翻訳中。

樋口良澄

1955 年生まれ。編集者。単行本のほか、雑誌『現代詩手帖』『文藝』などの編集に従事。文学・演劇の批評家。著書として『木浦通信』(共著)、『唐十郎論』。戦後の詩と社会を問うため鮎川信夫論を執筆中。

新井高子

1966 年生まれ。詩人。詩と批評の雑誌『ミテ』編集人。埼玉大学日本語教育センター准教授。詩集に『タマシイ・ダンス』、英訳詩集に『Soul Dance』(ジェフリー・アングルス訳)等。新詩集は『ベットと織機』。

